

■「マニフェスト大賞」優秀賞決まる

政策本位の政治を目指す全国の首長や地方議員、市民らを表彰する「第9回マニフェスト大賞」(マニフェスト大賞実行委員会主催、毎日新聞社・早稲田大学マニフェスト研究所共催、共同通信社後援)の「優秀賞」が10日、決定した。今回は1459団体・個人から過去最多の2223件の応募があった。優秀賞の中から、首長、議会、市民それぞれの大賞(グランプリ)と、各部門の最優秀賞などが選ばれ、11月14日に開かれる授賞式で発表される。優秀賞を受けた団体・個人は以下の通り。

《優秀マニフェスト賞》<首長>立谷秀清・福島県相馬市長、小林常良・神奈川県厚木市長、本川祐治郎・富山県氷見市長、尾関健治・岐阜県関市長、今村岳司・兵庫県西宮市長、樋渡啓祐・佐賀県武雄市長、草村大成・熊本県高森町長<地方議会>埼玉政経セミナー(埼玉県越谷市)、自民党横浜市連合支部・同横浜市会議員団、民主党京都府総支部連合会<市民>学生団体「選挙へGO!!」(青森県)、僕らの一歩が日本を変える。(東京都)、NPO法人湘南ビジョン研究所(神奈川県藤沢市)、Create Future山梨(甲府市)、VOTEFORNAGANO(長野県)、静岡わかもの党(静岡市)、平戸市まちづくり市民委員会(長崎県平戸市)《優秀成果賞》北海道芽室町議会、岩手県久慈市議会、長野県飯綱町議会、岐阜県高山市議会、三重県四日市市議会、長崎県小値賀町議会、神戸市会事務局、公明党岡山市議団《優秀政策提言賞》琵琶博之・北海道蘭越町議、真木大輔・埼玉県戸田市議、鈴木宏美・東京都新宿区議、太田維久・岐阜県議、ZAIKEN(議員有志による財政研究会)―神奈川県葉山町、高沖秀宣・議会事務局研究会共同代表―三重県《優秀ネット選挙・コミュニケーション戦略賞》松野豊・千葉県流山市議、清家愛・東京都港区議、草間剛・横浜市議、山城保男・小林伸行(ともに神奈川県横須賀市議)、千葉市、福井県鯖江市、三重県松阪市、松山市選挙管理委員会、一般社団法人リンクデータ(埼玉県川越市)、NPO法人Youth Create(東京都中野区)《優秀復興支援・防災対策賞》大津市議会、岡毅・兵庫県稲美町議、神奈川県秦野市大根地区自治会連合会、おおふなとキッズフーキング(岩手県大船渡市)、公益社団法人sweettreat311(宮城県)、「かたらんね!地域防災」事務局(熊本県大津町)